

標準貨物軽自動車運送約款

(平成十五年国土交通省告示第百七十一号)

最終改正 平成三十一年四月十五日
沖繩総合事務局陸運事務所第一一五六〇号

目次

- 第一章 総則 (第一条 - 第一条)
- 第二章 運送業務 (第三条 - 第五十六条)
- 第三章 引受け (第六条 - 第十五条)
- 第四章 積込み又は取卸し (第十六条 - 第二十四条)
- 第五章 貨物の受取及び引渡し (第二十五条 - 第二十六条)
- 第六章 指図 (第二十七条 - 第二十九条)
- 第七章 事故 (第三十条 - 第三十五条)
- 第八章 責任及び料金 (第三十六条 - 第四十八条)
- 第九章 連絡運輸 (第四十九条 - 第五十六条)
- 第十章 附帯業務 (第五十七条 - 第五十九条)

第一章 総則

- 第一条 (事業の種類) 当店は、貨物軽自動車運送事業を行います。
- 第二条 当店は、前項の事業に附帯する事業を行います。
- 第三条 (適用範囲) 当店の経営する貨物軽自動車運送事業に関する運送契約は、この運送約款の定めるところにより、この運送約款に定めのない事項については、法令又は一般の慣習によりします。
- 第四条 当店は、前項の規定にかかわらず、法令に反しない範囲で、特約の申込みに応じることがあります。

第二章 運送業務

- 第一条 (受付日時) 2 前項の受付日時を定める場合には、あらかじめ店頭に掲示します。
- 第二条 (運送の順序) 第四条 当店は、運送の申込みを受けた順序により貨物の運送を行います。ただし、腐敗又は変質しやすい貨物を運送する場合、その他正当事由がある場合は、この限りではありません。
- 第五条 当店の貨物の引渡期間は、次の日数を合算した期間とします。
- 第六条 (一発送期間) 1 一発送期間貨物を受け取った日を含め二日
- 第七条 (二発送期間) 2 前項の規定による引渡期間の満了後、貨物の引渡しがあったときは、これをもって延滞とします。

第三章 引受け

- 第一条 (貨物の種類及び性質の確認) 第六条 当店は、貨物の運送の申込みがあったときは、その貨物の種類及び性質を確認することを申込者に求めることがあります。
- 第二条 当店は、前項の場合において、貨物の種類及び性質に基き申込者が通知したことに疑いがあるときは、申込者の同意を得てその立会いの上で、これを点検することがあります。
- 第三条 当店は、前項の規定により点検をした場合において、貨物の種類及び性質が申込者の通知したところと異なるときは、これにより生じた損害の賠償をします。
- 第四条 当店は、前項の規定により点検をした場合において、貨物の種類及び性質が申込者の通知したところと異なるときは、申込者に点検に要した費用を負担していただきます。
- 第五条 (引受け拒絶) 第七条 当店は、次の各号の一に該当する場合には、運送の引受けを拒絶することがあります。

- 一 当該運送の申込みが、この運送約款によらないものであるとき。
- 二 申込者が、前条第一項の規定による通知をせず、又は同条第二項の規定による点検の同意を与えないとき。
- 三 当該運送に関する設備がないとき。
- 四 当該運送に關し、申込者から荷物の負担を求められたとき。
- 五 当該運送が、法令の規定又は公の秩序若しくは善良の風俗に反するものであるとき。
- 六 天災その他やむを得ない事由があるとき。

- 第八条 (送り状等) 荷送人は、当店の請求があったときは、次の事項を記載して送り状を、一口ごとに交付しなければなりません。
- 一 貨物の品名、品質及び重量又は容積並びにその造りの種類及び個数
- 二 発送地及び到達地 (目的地、アパートその他高層建築物にあつては、その名称及び電話番号を含む)
- 三 運送の取扱別
- 四 運賃、料金、立替金その他の費用 (以下「運賃、料金等」という。)の支払に関する事項
- 五 高価品及び荷受人の氏名又は商号並びに住所及び電話番号
- 六 高価品については、貨物の種類及び価額
- 七 品代金の取立てを委託するときは、その旨
- 八 運送保険に付することを委託するときは、その旨
- 九 その他その貨物の運送に代し必要な事項

- 2 荷送人は、送り状の交付に代し、運送人の承諾を得て、送り状に記載すべき事項を電磁的方法により提供することができ、この場合においては、荷送人は、送り状を交付したものとみなします。
- 3 荷送人は、当店が第一項の送り状の交付を請求しないときは、当店に第一項各号に掲げる事項を通知しなければなりません。(高価品及び貴重品)
- 第九条 この運送約款において高価品とは、次に掲げるものをいいます。
- 一 貨幣、紙幣、銀行券、印紙、郵便手及び公債証券、株券、債権、商品券その他の有価証券並びに金、銀、白金その他の貴金属、イリジウム、タングステンその他の稀金属、金剛石、紅玉、緑柱石、琥珀、真珠その他の宝玉石、象牙、べつ甲、珊瑚及び各その製品
- 二 美術品及び骨董品
- 三 容器及び荷造りを加え一キログラム当たりの価格が二万円を超えざる貨物 (動物を除く)

- 2 前項二号の一キログラム当たりの価格の計算は、一荷造りごと、これをします。
- 3 この運送約款において貴重品とは、第一項第一号及び第二号に掲げるものをいいます。
- 第十条 (運送の取扱別不明な場合) 第十一条 当店は、荷送人が運送の申込みをするに当たり、運送の取扱別の他その貨物の運送に關し必要な事項を明示しなかった場合は、荷送人にとって最も有利と認められるところにより、当該貨物の運送をします。
- 第十二条 (荷造り) 荷送人は、貨物の性質、重量、容積、運送距離及び運送の取扱別等に応じて、運送に適するように荷造りをしななければなりません。
- 2 当店は、貨物の荷造りが十分でないときは、必要な荷造りを要求します。
- 3 当店は、荷造りが十分でない貨物であっても、他の貨物に對し不備による損害を負担することを承諾したときは、その運送を引き受けることがあります。

- 第十二条 (外装表示) 荷送人は、貨物の外装に次の事項を見やすいように表示しなければなりません。ただし、当店が必要ないと認めた事項については、この限りではありません。
- 一 荷送人及び荷受人の氏名又は商号及び住所
- 二 品名
- 三 個数
- 四 その他運送の取扱いに必要な事項

- 2 荷送人は、当店が認めるときは、前項各号に掲げる事項を記載した荷札をもって前項の外装表示に代えることができます。
- 第十三条 当店は、動物その他特殊な管理を要する貨物の運送を請求することがあります。
- 一 当店において、持込み又は受取の日時を指定すること。
- 二 当該貨物の運送につき、付添人を付すること。
- 第十四条 (危険品) 荷送人は、爆発、発火その他運送上の危険を生ずるおそれのある貨物については、その旨を当該貨物の外部の見やすい箇所に明記するとともに、あらかじめ、その旨及び当該貨物の品名、性質その他の当該貨物の安全な運送に必要な情報を当店に通知しなければなりません。
- 第十五条 (連絡運輸又は利用運送) 当店は、荷送人の利益を害しない限り、引き受けた貨物の運送を他の運送機関と連絡して、又は他の貨物自動車運送事業者の行う運送若しくは他の運送機関を利用して運送することがあります。

第三節 積込み又は取卸し

- 第十六条 (積込み又は取卸し) 当店は、積込み又は取卸しは、当店の責任においてこれを行います。
- 第十七条 (シートの使用) シート、ロープ、建木、台木、充てん物その他の積付用品は、通常貨物自動車運送事業者が備えているものを除き、荷送人又は荷受人の負担とします。

第四節 貨物の受取及び引渡し

- 第十八条 (受取及び引渡しの場所) 1 受取及び引渡しは、送り状に記載され、又は通知された発送地に於て荷送人又は荷受人の指定する者から貨物を受取り、送り状に記載され、又は通知された到達地において荷受人又は荷受人の指定する者に引渡しをします。
- 第十九条 (管理者等に対する引渡し) 1 荷受人が引渡先に不在の場合には、その引渡先における同居者、従業員、旅籠等が引渡先の場合には、その管理者又は二船舶、寄宿舍、旅館等が引渡先の場合には、その管理者又はこれに準ずる者
- 第二十条 (留置権の行使) 第十九条 貨物は、貨物に關し受け取るべき運賃、料金等又は品代金等の支払を受けなければ、当該貨物の引渡しをしません。

- 2 商人である荷送人が、その営業のために当店と締結した運送契約については、運賃、料金等が所定期日または支払わなかったときは、当店は、その支払を受けなければ、当該荷送人とその運送契約によつて当店が占有する荷送人所有の貨物の引渡しをしないことがあります。
- 第二十一条 (指図の催告) 2 前項の規定により貨物の引渡しをしようとするときは、運送人に対し、相当の期間を定め、その貨物の受取を催告し、その期間経過の後に、さらに、荷送人に対し、前項に規定する指図と同じ内容の催告をすることがあります。
- 第二十二条 (引渡不能の貨物の寄託) 2 前項の規定により貨物の寄託をしたときは、運送人又は荷受人の費用をもって、その貨物を倉庫業者等に寄託することがあります。
- 第二十三条 当店は、荷受人を通知することができない場合は、運送人に対し、前項の規定により貨物の寄託をしたときは、運送人又は荷受人の費用をもって、その貨物を倉庫業者等に寄託することがあります。
- 第二十四条 (引渡不能の貨物の寄託) 2 前項の規定により貨物の寄託をしたときは、運送人又は荷受人の費用をもって、その貨物を倉庫業者等に寄託することがあります。
- 第二十五条 (引渡不能の貨物の寄託) 2 前項の規定により貨物の寄託をしたときは、運送人又は荷受人の費用をもって、その貨物を倉庫業者等に寄託することがあります。

- 2 前項の規定により貨物の引渡しをしようとするときは、運送人又は荷受人の費用をもって、その貨物を倉庫業者等に寄託することがあります。
- 第二十六条 (引渡不能の貨物の寄託) 2 前項の規定により貨物の寄託をしたときは、運送人又は荷受人の費用をもって、その貨物を倉庫業者等に寄託することがあります。
- 第二十七条 (引渡不能の貨物の寄託) 2 前項の規定により貨物の寄託をしたときは、運送人又は荷受人の費用をもって、その貨物を倉庫業者等に寄託することがあります。
- 第二十八条 (引渡不能の貨物の寄託) 2 前項の規定により貨物の寄託をしたときは、運送人又は荷受人の費用をもって、その貨物を倉庫業者等に寄託することがあります。
- 第二十九条 (引渡不能の貨物の寄託) 2 前項の規定により貨物の寄託をしたときは、運送人又は荷受人の費用をもって、その貨物を倉庫業者等に寄託することがあります。
- 第三十条 (引渡不能の貨物の寄託) 2 前項の規定により貨物の寄託をしたときは、運送人又は荷受人の費用をもって、その貨物を倉庫業者等に寄託することがあります。

- 2 前項の規定により貨物の寄託をしたときは、運送人又は荷受人の費用をもって、その貨物を倉庫業者等に寄託することがあります。
- 第三十一条 (引渡不能の貨物の寄託) 2 前項の規定により貨物の寄託をしたときは、運送人又は荷受人の費用をもって、その貨物を倉庫業者等に寄託することがあります。
- 第三十二条 (引渡不能の貨物の寄託) 2 前項の規定により貨物の寄託をしたときは、運送人又は荷受人の費用をもって、その貨物を倉庫業者等に寄託することがあります。
- 第三十三条 (引渡不能の貨物の寄託) 2 前項の規定により貨物の寄託をしたときは、運送人又は荷受人の費用をもって、その貨物を倉庫業者等に寄託することがあります。
- 第三十四条 (引渡不能の貨物の寄託) 2 前項の規定により貨物の寄託をしたときは、運送人又は荷受人の費用をもって、その貨物を倉庫業者等に寄託することがあります。
- 第三十五条 (引渡不能の貨物の寄託) 2 前項の規定により貨物の寄託をしたときは、運送人又は荷受人の費用をもって、その貨物を倉庫業者等に寄託することがあります。

- 2 前項の規定により貨物の寄託をしたときは、運送人又は荷受人の費用をもって、その貨物を倉庫業者等に寄託することがあります。
- 第三十六条 (引渡不能の貨物の寄託) 2 前項の規定により貨物の寄託をしたときは、運送人又は荷受人の費用をもって、その貨物を倉庫業者等に寄託することがあります。
- 第三十七条 (引渡不能の貨物の寄託) 2 前項の規定により貨物の寄託をしたときは、運送人又は荷受人の費用をもって、その貨物を倉庫業者等に寄託することがあります。
- 第三十八条 (引渡不能の貨物の寄託) 2 前項の規定により貨物の寄託をしたときは、運送人又は荷受人の費用をもって、その貨物を倉庫業者等に寄託することがあります。
- 第三十九条 (引渡不能の貨物の寄託) 2 前項の規定により貨物の寄託をしたときは、運送人又は荷受人の費用をもって、その貨物を倉庫業者等に寄託することがあります。

- 2 前項に規定する荷送人の権利は、貨物が到達地に到着した場合において、荷受人が貨物の引渡し又はその損害賠償の請求をしたときは、行使することができません。
- 3 第二項の指図をする場合において、当店が要求したときは、指圖書を交付しなければなりません。
- 第四十条 (指図に不応な場合) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。

第六節 事故

- 第二十七条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第二十八条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第二十九条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。

- 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第三十条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第三十一条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第三十二条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第三十三条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。

- 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第三十四条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第三十五条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第三十六条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第三十七条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。

- 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第三十八条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第三十九条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第四十条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第四十一条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。

- 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第四十二条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第四十三条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第四十四条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第四十五条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。

- 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第四十六条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第四十七条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第四十八条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第四十九条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。

- 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第五十条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第五十一条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第五十二条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第五十三条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。

- 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第五十四条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第五十五条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第五十六条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第五十七条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。

- 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第五十八条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第五十九条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第六十条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第六十一条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。

- 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第六十二条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第六十三条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第六十四条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第六十五条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。

- 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第六十六条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第六十七条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第六十八条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第六十九条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。

- 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第七十条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第七十一条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第七十二条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第七十三条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。

- 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第七十四条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第七十五条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第七十六条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第七十七条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。

- 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第七十八条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第七十九条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第八十条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第八十一条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。

- 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第八十二条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第八十三条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第八十四条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。
- 第八十五条 (事故の際の措置) 2 前項の規定により、指図に応じないときは、運送人又は荷受人の負担とします。